

# 第1回「北上川フェスタ」 IN MORIOKA

日時 平成29年6月17日(土)10:00~16:00  
場所 北上川夕顔瀬橋~明治橋下流区間

舟運歴史探訪  
舟下り体験 出発点



無料遊覧  
川守稲荷まつり会場

材木町よ市会場



舟運時代の舟橋をCGで再現放映  
盛岡舟っこ流し模型・パネル展示  
盛岡弁で語る「昔話っこ」  
大慈清水お休み処



もりおか町家物語館

小繰舟  
ゴムボート  
カヌー・etc  
展示

舟運の歴史探訪舟下り体験  
前売券 **¥1,000**  
体験記念品付き(保険付)  
8人乗りボート出発地点 盛岡駅前旭橋上流右岸  
8人乗りボート到着地点 明治橋 上流 左岸  
~ 御蔵・もりおか町家物語館・大慈清水お休み処  
~ 現地解散となります。(路線バスは明治橋際)  
参加資格:4歳以上但し、10歳未満は親が責任を  
もって同乗すること。

前売り券販売所

大慈清水お休み処・肴町商店街振興組合事務所  
橋市・ハシュバピー駅前店・材木町戎屋

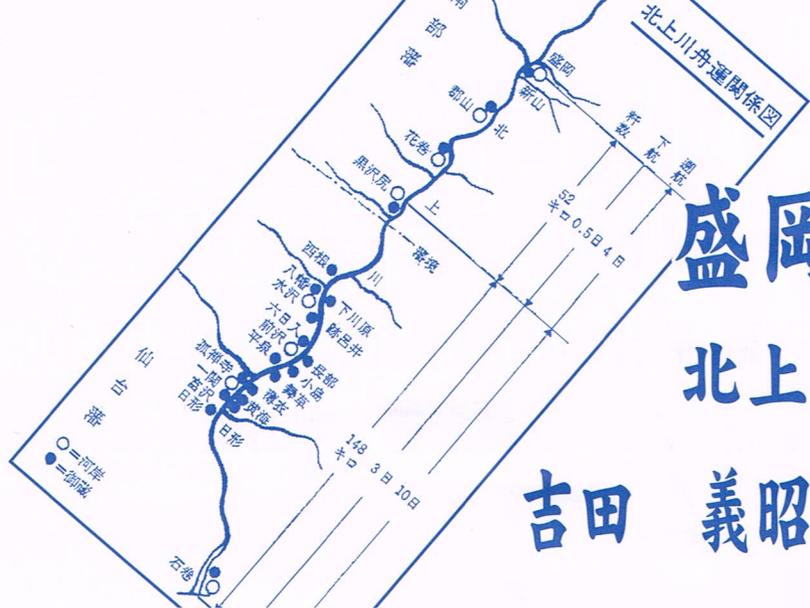
無料遊覧体験

夕顔瀬右岸から開運橋付近を  
ボートで回遊する(無料)



主催 北上川に舟っこを運航する盛岡の会

問い合わせ先 事務局 盛岡駅前東口振興会 電話 019-601-7244 FAX 019-601-7245  
後援: 国土交通省 東北地方整備局岩手河川国道事務所・北上川ダム統管理事務所・盛岡市



# 盛岡は川運の起点

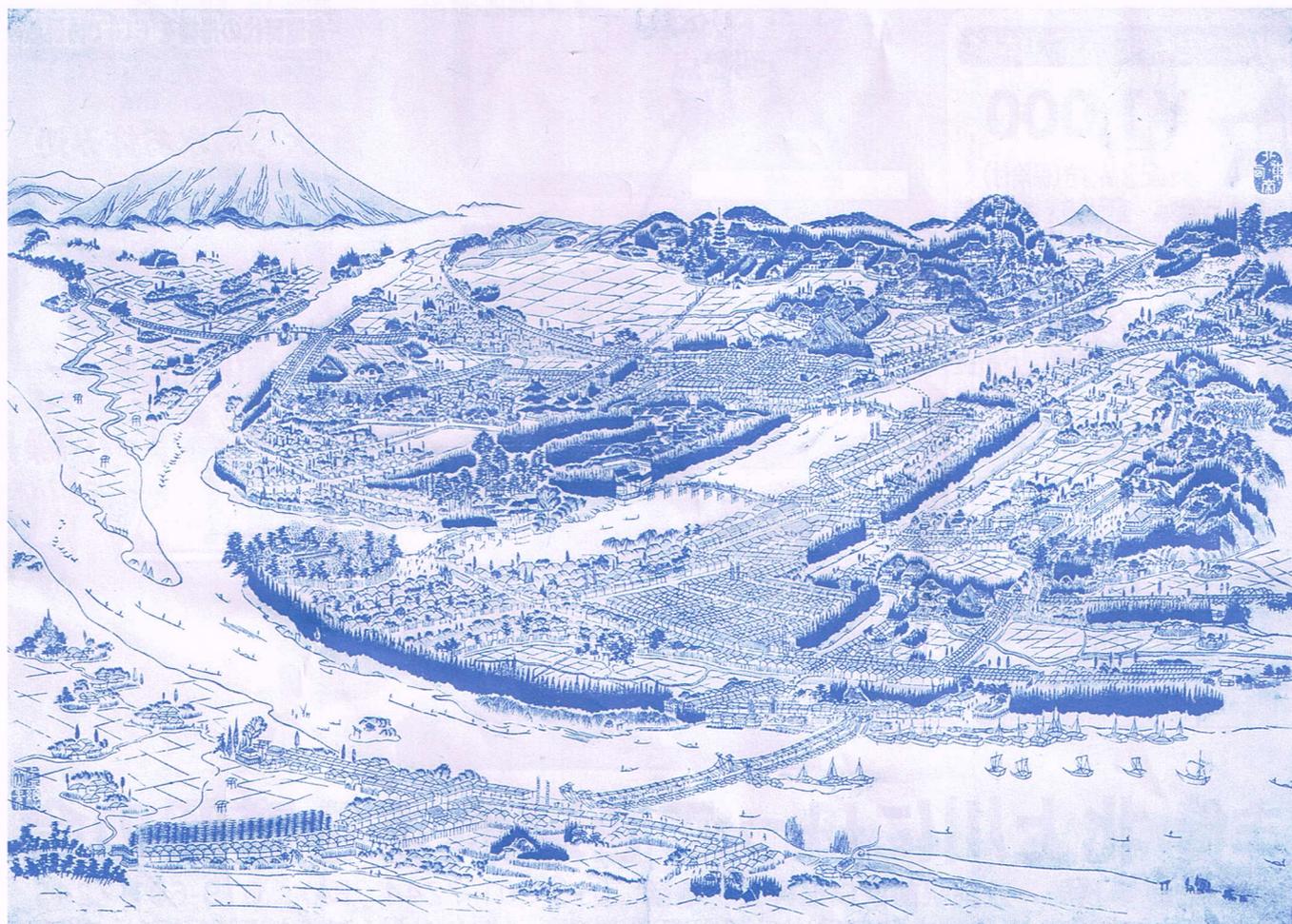
## 北上川の舟運

吉田 義昭 郷土文化研究所「盛岡」所長

北上川は、陸道がまだ発達しない時代から重要な水上交通路として利用されていた。江戸時代になり盛岡が城下町として整備されるに従って、交易のための輸送力の増強が望まれていた。

南部盛岡藩の海運では、大槌湊や宮古湊、また北部の田名部や野辺地湊を拠点として海産物、穀類、鉱産物などを積み出す湊として重要なところであったが、山岳の多い領内の陸上輸送が拓けず困難なものであった。藩では、寛永の末に盛岡を起点とする北上川の舟運も開けて、内陸部北上川流域の物資が江戸・京坂へと廻漕されるに至った。大量の物資を一気に輸送する手段としてはきわめて便利であり、北上川は重要な輸送ルートとして活用された。また川筋途中の黒沢尻川岸に番所や御蔵を設けて広く利用できるようになり、さらに花巻郡山も河港の方向に町が発達していった。北上川の舟運起点は、盛岡城下の新山河岸で石巻湊までの航程は四十八里八町であった。途中黒沢尻河岸で「小操舟」から「ひらた舟」という大型船に荷を積み替えて「川下げ」をした。そして、終点の石巻湊で外航船の弁財船などに荷を積み替えて、各地に物資を輸出了。

このように、江戸時代に北上川がはたした運輸上の利便は大きく、藩の経済財政上に対する好影響もはかり知れないものがあつた。



盛岡城下古絵図(安政6年(1859)川井鶴亭による鳥瞰図)もりおか歴史文化館収蔵

# 盛岡は、川のまち

御堂の泉から流れ来る北上川は、石巻を河口とする大河です。  
西からの雫石川、東からの中津川、三つの川は、盛岡のまちで合流します。  
縄文の時代から、盛岡の人々は、川とともに過ごしてきました。

江戸時代には、上方（京都・大坂）との交易に舟運が盛んでした。  
輸送量の番付で北上川は、東の大関（一番）でした。  
その起点は、盛岡新山河岸（現在の明治橋下流左岸の御蔵付近）でした。  
黒沢尻（北上市）までは、小繰舟（おぐりぶね=100俵積）で運びました。  
黒沢尻から石巻までは、罌舟（ひらたぶね=350俵積）で運びました。  
石巻からは太平洋を弁財船（べんざいせん=350石積）で江戸や上方まで運びました。  
北上川は、南部盛岡と上方を結ぶ大動脈でした。

明治になってからは、盛岡に鉄道が通り大量の物と人を運びました。  
北上川の舟運は、廃れていきました。  
さらに、松尾鉱山からの強い酸性の鉱毒水が流れ込み、  
北上川は、水辺に人を近づけない、赤い、死の川になりました。

松尾鉱山は廃坑になり、中和処理により鉱毒水をきれいにしました。  
北上川が清流に生まれ変わりました。

## 北上川に舟っこを運航する盛岡の会は、

北上川を新たな観光資源・交通手段となるよう、舟っこを運航することを目指して設立しました。

たくさんの人たちが川に親しむことができるよう取り組みます。  
お客様と地元の交流を図り、盛岡の活性化に寄与します。  
川との関わりが盛岡ブランドと伝えます。  
多くの人々と手を携えて、北上川を守ります。  
水は、命の源として、大切に作る心を育てます。  
水との暮らしと川の利用を図りながら、美しい盛岡を創ります。

「北上川フェスタ in MORIOKA」の開催によって  
多くの方々が川に親しんでもらえる一日となることを願っています。

北上川に舟っこを運航する盛岡の会